

Syllabus Id	syl-100056		
Subject Id	sub-100305751		
作成年月日	100317新規		
授業科目名	工業英語 英文名称:Technical English		
担当教員名	澤 洋一郎・大庭 勝久		
対象クラス	電子制御工学科5年		
単位数	1学修単位		
必修/選択	必修		
開講時期	前期		
授業区分			
授業形態	演習		
実施場所	電子制御工学科5年HR、情報処理演習室		
授業の概要(本教科の工学的、社会的あるいは産業的意味)			
インターネット時代の技術者は、世界的技術レベルで活動し、人類の発展に寄与することができますが、その規模での責任を問われることも起こります。電子制御工学科の学生は、世界的規模で責任ある情報を発信し、自信を持って受信する能力を身につけるよう努力します。(電子制御工科学習・教育目標より)			
準備学習(この授業を受講するときに前提となる知識)			
英語の基礎が必要			
学習・教育目標	Weight	目標	
		A	工学倫理の自覚と多面的考察力の養成
		B	社会要請に応えられる工学基礎学力の養成
		C	工学専門知識の創造的活用能力の養成
	◎	D	国際的な受信・発信能力の養成
		E	産業現場における実務への対応能力と、自覚的に自己研鑽を継続できる能力の養成
D:インターネット時代の技術者として必要な英語力をつける(5年生の目標:TOEICスコア500点以上)			
学習・教育目標の達成度検査			
1. 該当する学習・教育目標についての達成度検査を、目標達成度試験を持って行う。 2. プログラム教科目の修得と、目標達成度試験の合格を持って当該する学習・教育目標の達成とする。 3. 目標達成度試験の実施要領は別に定める。			
授業目標			
TOEICスコア500点以上を目標にします。			
授業計画(プログラム授業は原則としてプログラム教員が自由に参観できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)			
回	メインテーマ	サブテーマ	参観
第1回	ガイダンス+第1回TOEIC模擬テスト	プログラムの学習・教育目標、授業概要・目標、スケジュール、評価方法と基準、等の説明、模擬テスト:TOEIC Listening TEST	X
第2回	第1回TOEIC模擬	模擬テスト:TOEIC Reading TEST	X
第3回	演習	NewtonTLTソフト TOEIC TEST Bコース(課題:模擬テストでできなかった箇所に対応する演習)	
第4回	演習	NewtonTLTソフト TOEIC TEST Bコース(課題:模擬テストでできなかった箇所に対応する演習)	
第5回	演習	NewtonTLTソフト TOEIC TEST Bコース(課題:模擬テストでできなかった箇所に対応する演習)	
第6回	第2回TOEIC模擬	模擬テスト:TOEIC Listening TEST	X
第7回(中間試験)	第2回TOEIC模擬	模擬テスト:TOEIC Reading TEST	X
第8回	演習	NewtonTLTソフト TOEIC TEST Bコース(課題:模擬テストでできなかった箇所に対応する演習)	
第9回	演習	NewtonTLTソフト TOEIC TEST Bコース(課題:模擬テストでできなかった箇所に対応する演習)	
第10回	演習	NewtonTLTソフト TOEIC TEST Bコース(課題:模擬テストでできなかった箇所に対応する演習)	
第11回	演習	NewtonTLTソフト TOEIC TEST Bコース(課題:模擬テストでできなかった箇所に対応する演習)	
第12回	演習	NewtonTLTソフト TOEIC TEST Bコース(課題:模擬テストでできなかった箇所に対応する演習)	
第13回	第3回TOEIC模擬	模擬テスト:TOEIC Listening TEST	X
第14回(期末試験)	第3回TOEIC模擬	模擬テスト:TOEIC Reading TEST	X
第15回	演習	NewtonTLTソフト TOEIC TEST Bコース(課題:模擬テストでできなかった箇所に対応する演習)	
課題			
出典:NewtonTLTソフト TOEIC TEST Bコース(模擬テスト)			
提出期限:模擬テスト後次回授業まで			
提出場所: オフィスアワー:前期 曜日、時間15:00-17:00、場所:澤研究室			
評価方法と基準			
評価方法: 主として3回実施するTOEIC模擬テストの結果で判定する			
評価基準: 模擬テスト70%、学習態度(学習進捗、課題実施などを総合して評価)20%、自己評価10%、欠席減点最大100%			
教科書等 e-Learning TOEICトレーニングソフトNewton TLT			
先修科目 工業英語(4年)			
関連サイトのURL http://www.rakuten.co.jp/new-study/			
授業アンケートへの対応 特に要望があればできるだけ沿えるように検討する。			
備考 1.試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。 2.授業参観されるプログラム教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。			